

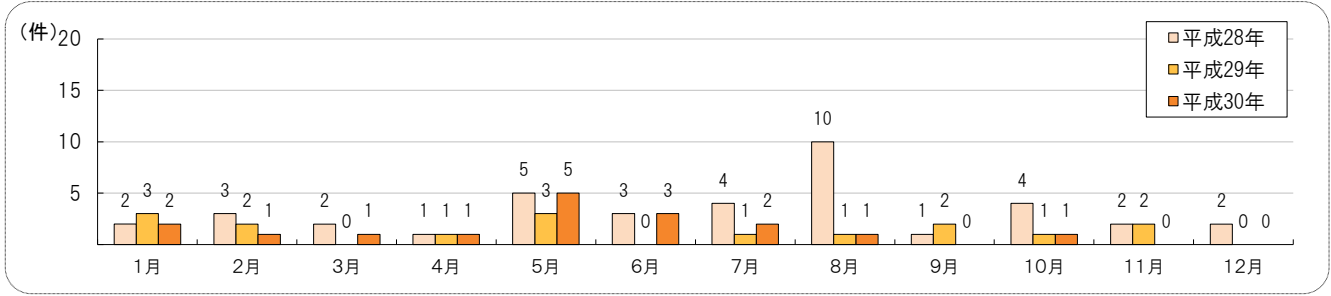
ひ っ た く り

平成30年中

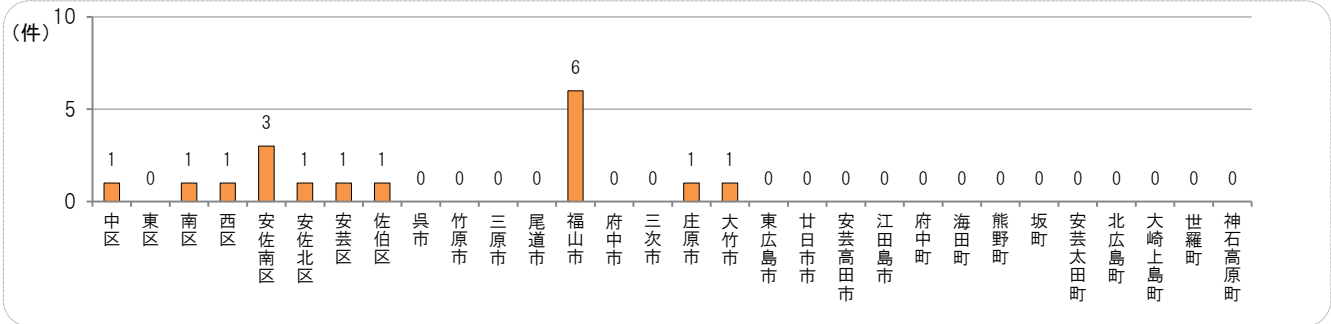
認知件数 17 件
(前年同期比 +1 件)



月別



市区町別



発生時間帯

傾向

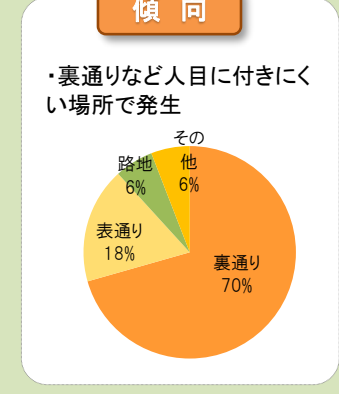


対策

■犯人のターゲットになりやすい夜間には、十分に周囲の警戒を!

被害場所の状況

傾向

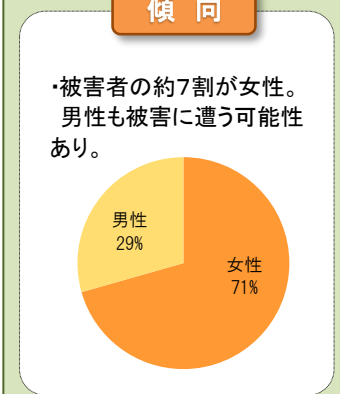


対策

■暗く人通りの少ない道を避け、明るく人通りの多い道の通行を。

被害者の性別

傾向



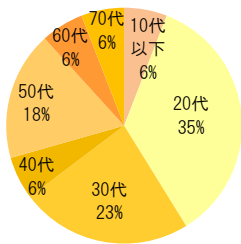
対策

■「自分は大丈夫」と思わず、防犯意識の保持を。

被害者の年代

傾向

・被害者は20代30代が約6割
しかし、各年代とも被害に遭う可能性あり



対策

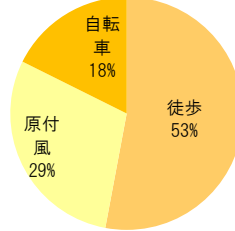
■自分は大丈夫だと油断せず、若い人も高齢者も防犯意識を持って。



犯人の乗り物

傾向

・徒歩で追い抜きざまにひったくる手口が5割以上。



対策

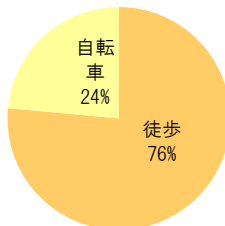
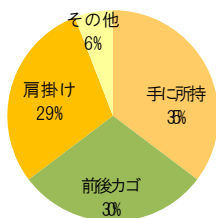
■スマホに夢中になったり、ヘッドフォンで音楽を聴いていると、周囲への注意がおろそかになるので注意！



バッグなどの所持状況／被害者の交通手段

傾向

・バッグを手にとっているときの被害が最多。
自転車はカゴに入れているときに被害



対策

■徒歩の場合、バッグの所持は車道の反対側に。
(「たすき掛け」も効果あり)

■自転車乗車中に被害に遭うケースもあります。
自転車のカゴには、「ひったくり防止ネット」の設置を。



たすき掛け



「歩きスマホ」にはリスクがいっぱい！

スマートフォンを使用しながら歩いたり、自転車や自動車を運転したりすると、ひったくりだけでなく、強盗やちかんの被害に遭ったり、車や自転車、他の歩行者に衝突する危険もあります。

事件や事故に遭わないために、「歩きスマホ」はやめ、身のまわりに潜んでいる危険への注意をしましょう。

NG



盗まれにくくするためのアイテム(例)

防止ネットやカバーがないときは、荷物の上に雑誌でフタをするなどの工夫を！



ひったくり防止ネット



雑誌・衣類など



ひったくり防止カバー

※掲載されている数値は暫定数値です。